

災害復旧費

総額1347万円などを認定！

定例会で審議された件数

- ※同意……………1件
- ※認定……………6件
- ※工事請負契約の締結……………3件
- ※財産の取得……………1件
- ※条例の制定……………2件
- ※条例の一部改正……………3件
- ※補正予算……………5件
- ※利益剰余金の処分……………1件
- ※請願・陳情の審査……………5件
- ※意見書の提出……………2件

9月定例会のポイント

第3回定例会は、条例改正などの議案のほかに、平成26年度一般会計ほか5会計の決算を認定する議会です。3月が予算議会、9月が決算議会という事になります。

村長から提出された決算書は普通会計が5会計（一般会計と特別会計）企業会計が1会計（水道事業会計）であり、審査は決算特別委員会を設置して5日間にわたり審査を行い、全ての決算を認定しています。平成26年度は、多くの会計で災害復旧に要する経費が支出されてい

ることが、例年とは大きな違いのある決算でありました。

今回提出された議案では、番号法の施行に関連した条例制定や条例改正が3件、白馬高校支援に関する条例制定や補正予算などが提出され、そのうち消防自動車の購入や災害関連工事請負契約は急を要するものとして、会期初日に採決を行い可決されました。陳情請願においては、安全保障関連法案を今国会で採決しないことを求める意見書が可決され、意見書を送付いたしました。意見書の送付と同時に国会において採決が行われる結果になりました。

●一般会計歳入

歳出決算

●一般会計歳入歳出決算

歳入は61億5914万2095円で、前年度比12億704万8430円、24・4%の増。歳出は57億2412万4110円で前年度比9億8919万8666円、20・9%の増となり、形式収支は4億3501万7985円で、実質収支は1億4388万4985円の黒字。9500万円を財政調整基金へ積立て、基金残高は14億565万3959円。地方債現在高は53億8309万8284円。実質公債費比率は11・8、対前年度比1・4のマイナス。公債費負担は年々改善されている。

歳入

村税は14億4759万464円で、前年度比5571万4394円の減。徴収率は67・9%、前年度比0・3の減。繰入金金は3億5507万1

歳出

土木費が11億3428万9495円、全体の19・8%、民生費が10億9365万7181円で19・1%、総務費が8億5188万3491円で14・9%。災害復旧費は3億1347万1898円、前年度比2億9611万3398円、1705・9%で、神城断層地震の影響で大幅な増。

千円で前年度比3億137万1千円、561・2%の増、神城断層地震の災害復旧に財政調整基金から3億42万1千円の繰り入れを行った。村債は7億6279万円で、前年度比136・7%の増。災害復旧事業に伴う新規発行によるもの。臨時財政対策債は2億4299万円で、前年度比143%の増、災害復旧等の経費増に伴うもの。